平成 31～令和元年度【上半期 保育園自己評価】　　認可小規模 A 型あんあん保育園平岸ルーム

【保育士の自己評価】◎…十分にできた　○…できた　△…課題あり　×…要改善

項目	評価内容	◎	○	△	×	保育士のコメント（一部抜粋）
日常業務について	連絡帳の記入 朝夕の受け入れなど		7	1		・園での様子をわかりやすく書くことを意識した。 ・朝夕の受け入れ時に子どもたちの小さな変化や成長の様子を伝え合うことを意識した。 一方で、受け入れ時に家庭での身体のケガについて見落としがあったので注意したい。
園児に関する業務	基本的生活習慣の確立 子どもとのかかわり方 情緒の安定を図るなど		5	3		・子ども達と信頼関係を築けるよう関わりに配慮した。毎日の関りを大切にすることで成長の援助へ繋げられるようにした。 ・月齢差によっての対応を難しく感じることがあった。
保育計画の作成と記録	週案やクラス記録 設定保育の展開など	1	2	4	1	・担任に任せきりな所も多く、後手に回ってしまった。 ・設定保育では同じ内容が多くなってしまい、日々の成長を促せるよう設定していく必要があった。
事故対応	リスクマネジメント 事故対応や連絡など		4	4		・発達段階や環境に応じて起こりうるケガや事故を念頭に常に置き、配慮していくことに努めた。・危険行為の多い子などの対応に悩むこともあったが会議を通して改善に努めた。
コミュニケーション	職員との連携 保護者との関わり 社会的マナーなど	1	2	5		・話し合いを重ねたり相談をすることで情報共有、連携の強化を行えたように思う。休みの職員に連絡漏れもあったので注意。 ・保護者や訪問者には丁寧なかかわりを意識した。
環境整備	共同、共有場所の整理整頓 園の清掃など	1	5	2		・毎日の清掃確認表を利用しながら清潔維持に努めた。 ・個人スペースに乱れがあるので整理整頓の意識を高める。
園行事	園行事の計画立案と実施 行事の連携協力など	1	4	2	1	・他園の活動を見学することで参考にすべきところ、改善できる　ところをみつけることができた。 ・毎月の歌を練習する機会が取れないこともあり残念だった。

【今後の業務上の課題】　※一部抜粋

	何を	どのように
職員集団の中での目標	・　会議などでは積極的に発言を行い、情報共有だけではなく、問題解決の場にしていく。 ・　怪我に繋がらないよう、職員同士の連携を深める。	・　疑問や感じたことは個々同士ではなく会議の場で発言し、全体で解決を目指していく。 ・　広い視野を持ち、素早く行動に移せるよう意識する。 日々の安全確認を全体で行っていく。
自分が目標にすること	・　発達段階に合った保育、ねらいのもった保育を行い、日々の成長の援助を行う。 ・　色々な職員の保育の様子などを参考にし、保育内容の 充実を図る。	・　事前の打ち合わせを密に行い、他の職員とも相談し、 子どもたちに様々な経験を増やせる意識する。 ・　子どもたちがどんな事に興味を持つか、アンテナを広げつつ、様々な素材や題材を取り入れていく。